

本教材について

背景

JICA では、開発途上国の農業・農村開発における女性の重要な役割に着目し、近年、同分野の取り組みにおけるジェンダー主流化を推進してきています。JICA が平成 23 年 3 月に発表した「課題別指針：農業開発・農村開発」では、具体的な活動として、「ジェンダーの視点に立った、開発課題、開発ニーズの明確化、開発政策、施策、事業の計画、実施、モニタリング、評価等を行う」ことが謳われ、「すべての農業開発・農村開発活動はジェンダー視点に立って行う必要がある」ことを明確に打ち出しています。

これに鑑み、JICA では 2013 年から 2015 年の 3 年間に亘って、能力強化研修「農業／農村開発とジェンダー」を、同分野での業務に従事する開発コンサルタントを主な対象として開催しました。研修では、まず、農業・農村開発におけるジェンダー課題や、ジェンダー視点に立った事業を実施するために必要な取り組みや視点について概観し、その後、JICA の農業・農村開発事業にジェンダー視点を主流化していくために必要な分析や手法について、事例に基づいた講義及びグループ演習が行われました。研修には、開発コンサルタントを中心に、毎年約 30 名が参加し、農業・農村開発事業におけるジェンダー視点とは何か、またジェンダー視点を取り入れるためにはどうすれば良いのかについて学ぶと共に、参加者間で活発な議論が展開されました。本研修の参加者の中から、ジェンダー主流化の専門家として農業・農村開発事業に従事したり、あるいは、専門家として従事している農業／農村開発事業において、ジェンダーの視点に立った取り組みを推進する方々も出てきています。

本教材の目的

本教材は、上述の能力強化研修「農業／農村開発とジェンダー」の成果を踏まえ、研修で使用された教材を、当該分野でジェンダー主流化を推進する援助実務者向けの独学用教材として再構成したものです。JICA の農業・農村開発事業の中でも、小規模農家を対象とした農業普及事業を念頭に、当該事業の立ち上げ期から評価に至る一連のプロジェクトサイクルの中で、どのようにジェンダー視点を主流化させていくのかについて、取りまとめてあります。本教材によって、開発途上国の小規模農家が抱える様々な問題の全てを解決できるわけでは決してありませんが、農家の状況をジェンダー視点から見つめ、皆さんが従事されている JICA 事業の中で計画している活動にジェンダーの視点を取り入れていく事で、農家が直面する課題のいくつかを緩和することは可能なはずです。また、それによって、当該事業の有効性、効率性、そして持続性の向上へも寄与することとなるでしょう。

具体的には、本教材は、男女の間に存在する様々な格差を浮かび上がらせ、その格差の原因を把握することで、男女間の格差解消及びその関係性改善をはかり、その結果としてもたらされる農家の生活の改善、農作業の効率化等が、農業生産性や農業収入の改善へとつながるという考えに基づいて作成されています。本教材に書かれている手法を活用することで、プロジェクトへの男女双方の参加及び男女双方による推奨

技術の受容・活用を促進し、それにより、各世帯の農業生産性及び農業収益の向上、さらには生計の向上へとつなげていく事を目指すことになります。



ジェンダーについての基礎知識は持ちながらも、その知識を現場で活かすにはどうしたらよいか良く分からない、農業分野の取り組みにおいてジェンダー視点を導入させていくための実践的な手法が分からない、そんな援助実務者の方々にとって、本教材が役に立つことを願っています。

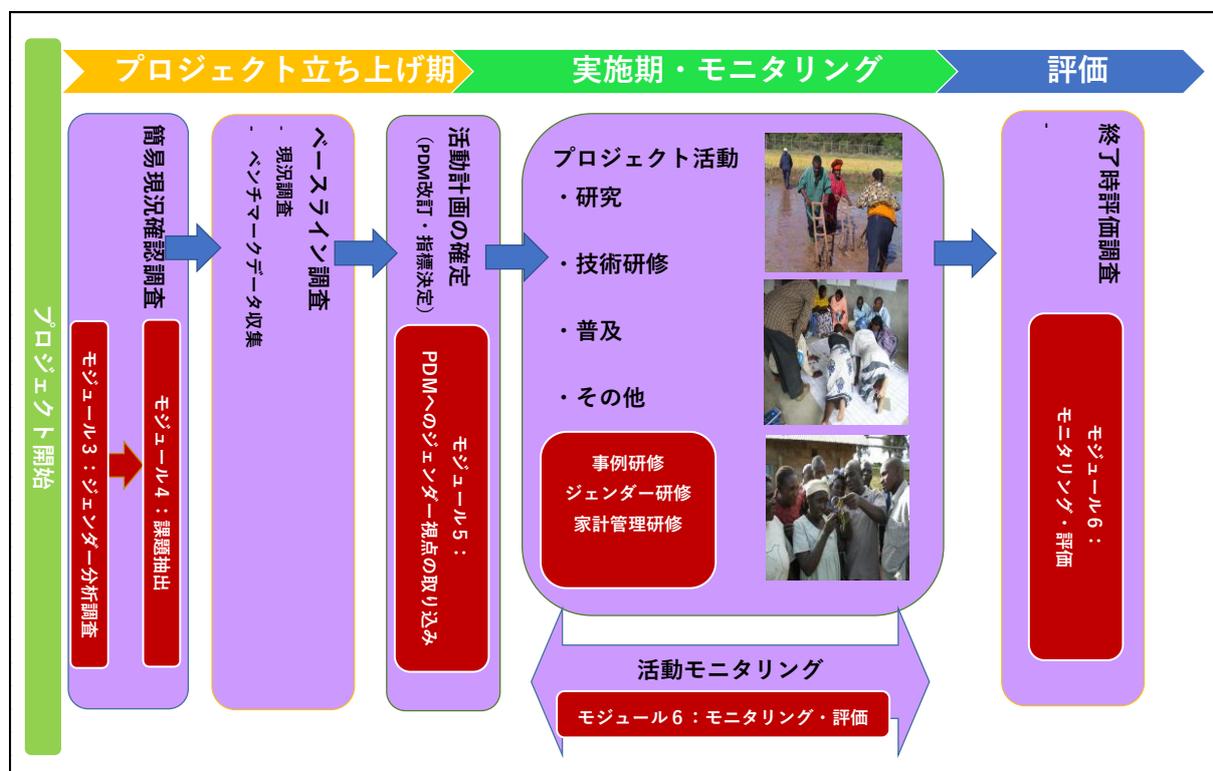
本教材の構成

本教材は、6つのモジュールと2つのジェンダー研修教材により構成されています。文章で構成されるモジュール1を除く全てのモジュールは、上述の「2015年度能力強化研修：農業／農村開発とジェンダー」で活用されたパワーポイントプレゼンテーションに、スライド毎にポイントをまとめた解説を付けたもので、独習者にも理解いただけるように工夫してあります。また、必要に応じて、各モジュールには、参照資料や参考資料が添付されていますので、指示に従い、学習を進めてください。

最初の2つのモジュールでは、基本的なジェンダーの考え方や概念、また JICA 事業が対象とする小規模農家や対象地域の状況をジェンダー視点から把握するための手法や分析の仕方について紹介しています。一方、モジュール3からは、アフリカのA国で実施されている JICA 小規模農家対象事業「A国園芸作物生産振興プロジェクト (HPiP)」を事例として取り上げ、小規模農家を対象とした農業・農村開発事業にどのようにジェンダー視点を取り込んでいくのかについて、具体的に見ていきます。なお、モジュール3からモジュール6は、1) ジェンダー主流化手法の説明、2) 説明に基づいた課題の実施、3) 課題を参照しながらの手法の留意点についてのおさらいという流れで構成されています。

図1は、農業・農村開発事業で実施される活動に対して、それぞれのモジュールがどのように対応するの
かを示しています。

図1： JICA 農業・農村開発事業と本学習教材



このように、本教材は、JICA の技術協力プロジェクトで採用されているプロジェクト・サイクル・マネジメント (PCM) の「計画 - 実施 - 評価」の流れに則って構成されていますので、PCM についての理解が十分ではないと思われる方は、まず、本教材に取り組む前に、PCM についての概要を確認することをお勧めします¹。

本教材の内容

以下に本教材の内容について、具体的に見ていきます。

モジュール1 「農業・農村開発とジェンダー」

モジュール1 では、なぜジェンダーの視点が、農業・農村開発分野において重要なのかについて、統計データと共に見ていきます。このモジュールではさらに、基本的なジェンダー概念についても取り上げています。「セックスとジェンダーの違い」、「ジェンダー主流化の定義」等、本教材を使用するにあたり、理解

¹ 参考資料: The ABCs of PCM (トレーニングビデオ)

https://jica-net-library.jica.go.jp/jica-net/user/lib/contentDetail.php?item_id=885

事業マネジメントハンドブック 第II部プロジェクトマネジメント

http://jica-ri.jica.go.jp/IFIC_and_JBICI-Studies/jica-ri/publication/archives/jica/field/200712_aid.html

しておいていただきたい基本的なジェンダーの概念について、説明してあります。

モジュール2 「基本的なジェンダー分析ツールとその分析手法」

このモジュールでは、基本的なジェンダー分析ツールの使い方、またジェンダー視点を取り入れる時の考え方や視点について概観します。具体的には、以下の点を中心に構成されています。

- ◎ 基本的なジェンダー分析ツール (Activity Profile、Daily Activity Calendar、Access & Control Profile) の紹介
- ◎ ジェンダー分析ツールを活用してのコミュニティ調査の実施方法
- ◎ コミュニティ調査結果分析の仕方

また、それぞれについて演習問題もありますので、指示に従って、取り組んでみてください。

モジュール3 「ジェンダー分析手法」

「A 国園芸作物生産振興プロジェクト (HPIP)」を事例として、事業対象地域のジェンダー課題を把握することを目的とした「ジェンダー分析調査」の実施方法について学びます。調査目的の確認、調査項目の設定、調査手法の検討を通じて、ジェンダー分析調査をどのように準備し、実施していくのかを説明してあります。

モジュール4 「分析結果の読み解き方：課題抽出」

モジュール3で取り上げた「ジェンダー分析調査」の調査結果の整理・分析手法を学びます。特に、調査結果からどのようにジェンダー課題を抽出していくのかについて、その方法・視点を取りまとめてあります。

モジュール5 「ジェンダー視点に立ったプロジェクトの計画・立案」

このモジュールでは、モジュール4で特定されたジェンダー課題を踏まえ、その緩和・解消を念頭に、JICA事業の柱であるプロジェクト・デザイン・マトリックスにジェンダー視点を反映させるための方法・視点について見ていきます。

モジュール6 「ジェンダー視点に立ったプロジェクトのモニタリング・評価」

モジュール6では、HPIPがジェンダー視点に立ったモニタリング・評価を実施する際、どのような点に気を付ければ良いのかについて検討します。日々の活動の中にジェンダーを主流化させていく事で、より効率的・効果的にジェンダー視点に立ったモニタリング・評価が行えることを確認します。

事例研修「ジェンダー啓発研修」「家計管理研修」

ここでは、ジェンダー分析調査で明らかになったジェンダー課題に対処するために、HPIP が農業行政官や農業普及員を対象として開発したトレーナー向け研修教材を紹介します。HPIP 対象農家のジェンダー課題を緩和・解決するための研修となっていますので、プロジェクトの現場でそのままこの研修教材を活用できるわけではありませんが、研修の構成、課題緩和のためのアプローチ等を確認することが出来ます。なお、ここには、アフリカ諸国で実施されている JICA の小規模農家対象プロジェクトで開発・活用されている行政官・普及員を対象とした農家研修用ガイドラインも参考資料として添付されています。これは、トレーナー向け研修を受講した行政官・普及員が、農家研修を準備・実施する際に参照することを目的としたもので、どのように農家研修を進めていくのかが詳述されています。

添付資料「2015 年度能力強化研修「農業／農村開発とジェンダー」：グループワーク結果」

2015 年度の能力強化研修参加者による各モジュールの課題に係るグループワークの結果を取りまとめたものです。研修参加者の方々の課題に係る視点を確認することが出来ます。